

リクエスト 静止画システム (多摩ニュータウンにおける)

生活様式の多様化が進んだ現代社会においては、個人も企業もその必要とする情報を、効率よく主体的に選択して摂取することが要請される。

東京・多摩ニュータウンで目下実施されている同軸ケーブル情報システム (CCIS) による生活情報サービス実験は、この要請にこたえようとするもので郵政省の委託を受けた財団法人生活映像情報システム開発協会が、本年1月より52年度半ばまでの予定で実験を行なっている。これは、同軸ケーブルがもっている大きな伝送能力を利用して、地域社会で多種多様な情報サービスを試み、住民の各種情報に対する要求、地域社会における CCIS の役割やその運営、技術上の問題などを検討し、更に経済的、効率的システムの開発などを行なっており、CCIS の可能性を見究めようとするものである。

実験システムは、各サービスに対応したサブシステムから構成されているが、日立製作所が納入した「リクエスト静止画システム」はその一つである。

これは、センター設備と端末とで構成されており、端末からのリクエストに応じてセンターよりカラーの静止画



を一般の放送チャンネル以外の周波数帯で伝送し、端末ではテレビジョンの空きチャンネル (11チャンネル) に変換した後、テレビ受像機に表示される。

センター設備は、マイクロフィッシュ検索装置、制御処理装置などで構成され、端末からのリクエストに対し、カラー静止画を平均アクセスタイム4秒で検索し、映像信号に変換して送る。

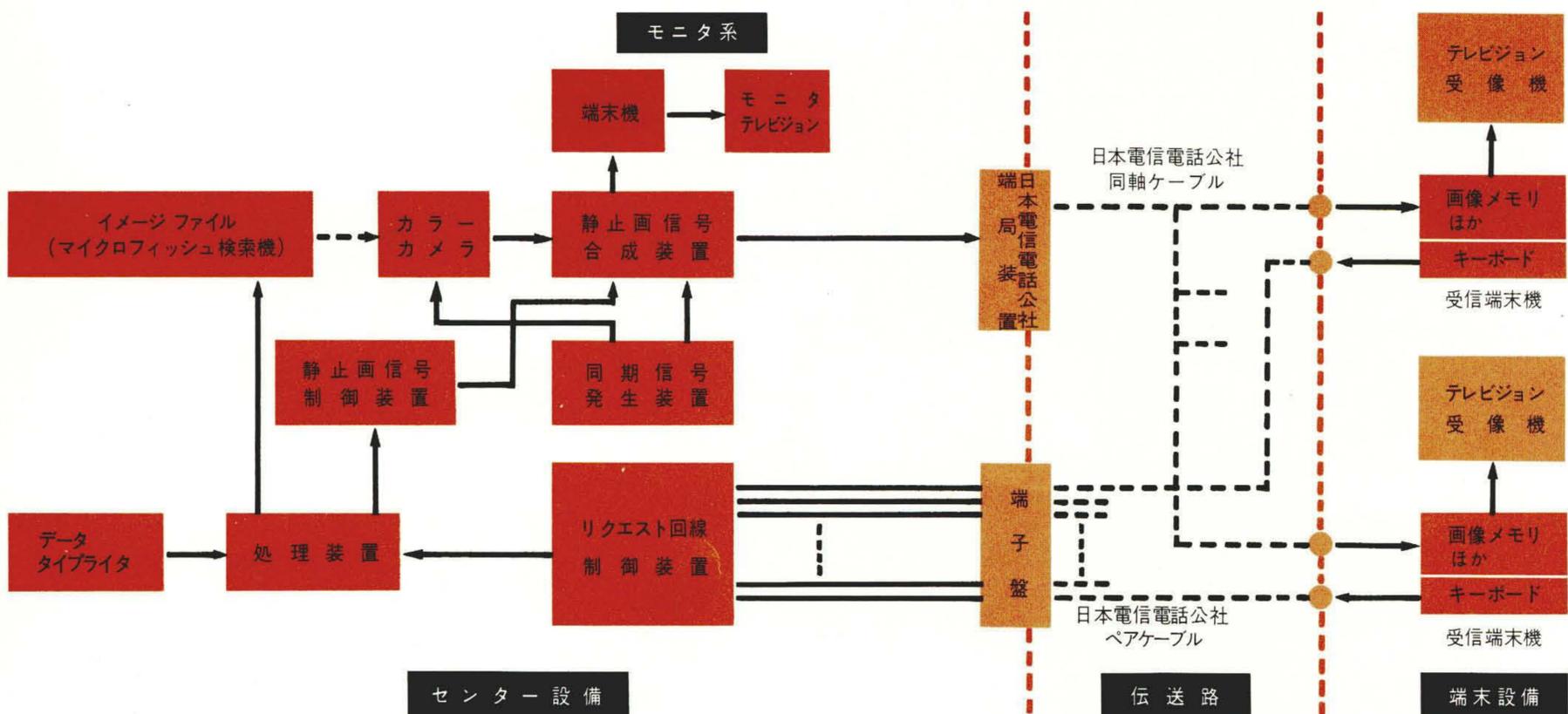
端末は受信端末機 (キーボード、画像メモリなど) テレビジョン受像機で構成される。キーボードでリクエストし、センターから送られてきた静止画は、画像メモリに一時蓄積され、静止画としてテレビジョン受像機に映される。

リクエスト信号の伝送は、ペアケー

ブル、静止画信号の伝送は同軸ケーブルを通して行なわれ、ケーブルは日本電信電話公社の布設による。

多摩ニュータウンの実験では、約30台の端末を一般家庭に設置し、教育・教養・生活・娯楽・観光などの情報を、約5,000枚の静止画によりサービスしている。

このようなシステムは、世界で初めてのものであり、特にミニコンピュータによる静止画の即時検索、約30端末からのリクエストの時分割処理、及びディスクメモリを用いた静止画の一時蓄積など、多方面に新技術が駆使されている。本システムは、生活情報だけでなく、一般企業の図面管理、書類の検索など業務用としての用途も広い。



リクエスト静止画システム構成図